

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 青山 雅之  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 相島 敏行 (TEL) 03-3278-4333  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	101,016	4.7	11,035	△2.4	14,184	△0.1	9,374	△1.9
2025年3月期第3四半期	96,457	6.0	11,306	△0.0	14,193	△3.4	9,559	3.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 13,953百万円 ( 14.4%) 2025年3月期第3四半期 12,200百万円 ( △39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	84.39	—
2025年3月期第3四半期	81.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	259,113	214,386	74.9	1,788.36
2025年3月期	267,250	223,298	73.0	1,700.16

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 194,129百万円 2025年3月期 195,218百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	25.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	△1.0	14,000	△6.7	18,500	△7.2	12,000	△8.5	110.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年8月7日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2026年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	132,604,524株	2025年3月期	132,604,524株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期3Q	24,052,965株	2025年3月期	17,781,376株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	111,082,944株	2025年3月期3Q	117,360,810株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
3. 補足情報 .....	12
(1) 四半期毎の業績の推移（連結） .....	12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資など一部に持ち直しがみられました。また、製造工業生産等、輸出・輸入などが横ばい傾向となりました。一方で、物価上昇の継続や米国の通商政策など懸念材料もあり、先行きは不明瞭な状況が続いております。また、世界経済におきましても、米国では個人消費が減速傾向で推移するなど低調基調となりました。そして、中国経済の減速傾向等のリスクもあり、依然として先行きは不透明となっております。

当社グループの主要な供給先であります自動車業界では、国内の生産台数は前年を下回る水準で推移しました。また、海外では、中国、インドなどでは生産台数が前年を上回りましたが、米国、タイなどでは前年割れで推移しました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においては、国内では粗鋼生産量は前年を下回る水準となりました。また、海外においても、中国等の地域では粗鋼生産量が前年を下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、今期より第5次中期経営計画をスタートさせました。2028年の創業100周年に向け、品質向上、安全確保、資本効率の向上など、持続的成長を支えるためのグループ経営基盤を確立するとともに、「変革への挑戦～Challenge for Change!～」をスローガンに掲げ、1928年の創業以来培ってきた表面改質技術を通じて、既存事業の深耕、海外事業の拡大、新規分野の開拓に注力し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。また、新総合技術研究所（Parker Innovation Center）を開所させ、脱炭素社会の実現に向けた研究開発の推進や、コア技術の発展及び将来を見据えた研究開発の強化にも努めております。

この結果、当第3四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
<b>当第3四半期累計期間 (2026年3月期)</b>	<b>101,016</b>	<b>11,035</b>	<b>14,184</b>	<b>9,374</b>
前第3四半期累計期間 (2025年3月期)	96,457	11,306	14,193	9,559
増減金額	4,558	△271	△9	△185
増減率	4.7%	△2.4%	△0.1%	△1.9%

**売上高**は1,010億16百万円（前年同期比4.7%増）となりました。また、売上高は四半期開示が始まった2004年3月期から、過去最も高い水準となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が1.7%の増収、装置事業が18.8%の増収、加工事業が1.8%の増収、その他が12.5%の増収となりました。そして、地域別セグメントは、国内が3.5%の増収、アジアが9.6%の増収、欧米が4.6%の減収となりました。

**営業利益**は、人件費や経費等の増加により110億35百万円（前年同期比2.4%減）となりました。**経常利益**は為替差益等の増加により141億84百万円（前年同期比0.1%減）となりました。そして、**親会社株主に帰属する四半期純利益**は投資有価証券売却益等を計上したことにより93億74百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

## 【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で9億43百万円程度の減収、営業利益で1億30百万円程度の減益となっております。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減額	増減率	前第3四半期累計	当第3四半期累計	増減額	増減率
薬品事業	43,246	43,988	742	1.7%	7,969	7,153	△816	△10.2%
装置事業	15,624	18,556	2,932	18.8%	397	1,247	850	214.1%
加工事業	35,536	36,165	628	1.8%	3,704	3,680	△23	△0.6%
その他	2,049	2,305	255	12.5%	34	△41	△75	△220.9%
調整額(消去)	—	—	—	—	△797	△1,003	△206	△25.8%
連結損益計算書計上額	96,457	101,016	4,558	4.7%	11,306	11,035	△271	△2.4%

## ①薬品事業

売上高は439億88百万円(前年同期比1.7%増)となり、営業利益は71億53百万円(前年同期比10.2%減)となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これにともなう最新のノウハウ、技術サポートを提供しております。国内では鉄鋼分野・自動車分野を中心に、販売数量が前年同期を多少上回り、緩やかな回復基調で推移しました。そして、海外でもアジア地域を中心に販売増加等により、薬品事業全体では売上高は増収となりました。利益面では、原材料価格の高値圏での推移及び、人件費及び減価償却費の増加により営業利益は減益となりました。

## ②装置事業

売上高は185億56百万円(前年同期比18.8%増)となり、営業利益は12億47百万円(前年同期比214.1%増)となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。中国及びタイ等において大型案件の減少等の影響があり販売が伸び悩みました。一方、インドでの販売拡大のほか、国内での販売増加がありました。その結果、装置事業全体では売上高は増収となり、利益面でも増益となりました。

## ③加工事業

売上高は361億65百万円(前年同期比1.8%増)となり、営業利益は36億80百万円(前年同期比0.6%減)となりました。当事業部門は、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、素材表面に薄膜金属を被膜することで高耐食性、耐摩耗性などを付与できる「めっき処理」などの表面処理の加工サービスを提供しております。主に国内では、自動車業界等向けにて販売増加があり、売上高は増収となりました。一方、中国では日系自動車メーカーの販売が伸び悩み、販売が減少しました。また、自動車生産台数が前年より減少した米国等の地域においても販売が減少しました。利益面では、原材料費・光熱費の高止まり、及び人件費等の増加により、営業利益は減益となりました。

## ④その他

売上高は23億5百万円(前年同期比12.5%増)となり、営業損失は41百万円(前年同期は34百万円の営業利益)となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業及び医療機器事業を営んでおります。また、当期において医療機器事業の会社を新設分割により設立しました。主にビルメンテナンス事業において販売が伸びた結果、売上高は増収となりました。一方、原価及び販管費の上昇等により利益面では減益となりました。

## 【投資情報】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減率
減価償却費	5,006	5,260	5.1%
設備投資額	8,642	7,260	△16.0%
研究開発費	1,610	2,069	28.5%
有利子負債	756	961	27.2%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し81億36百万円減少し2,591億13百万円となりました。流動資産は184億76百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が141億63百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が18億84百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は103億40百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が12億8百万円、投資その他の資産が90億51百万円それぞれ増加したことによるものです。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し7億75百万円増加し447億26百万円となりました。流動負債は13億82百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債その他に含まれる未払金が24億66百万円減少したことによるものです。固定負債は21億57百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が17億99百万円増加したことによるものです。

**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し89億12百万円減少し2,143億86百万円となりました。主な要因は、自己株式が81億71百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は74.9%と前連結会計年度末と比較し1.9ポイント増加するとともに、1株当たり純資産は1,788円36銭と88円20銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想から変更はありません。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,808	63,644
受取手形、売掛金及び契約資産	44,525	42,641
有価証券	901	744
商品及び製品	4,008	3,810
仕掛品	85	65
原材料及び貯蔵品	7,238	7,121
その他	5,503	3,751
貸倒引当金	△2,203	△2,388
流動資産合計	137,868	119,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,823	31,791
機械装置及び運搬具（純額）	14,309	13,019
土地	18,204	18,521
建設仮勘定	2,655	5,144
その他（純額）	3,184	3,908
有形固定資産合計	71,177	72,385
無形固定資産	4,671	4,751
投資その他の資産		
投資有価証券	34,482	42,640
退職給付に係る資産	3,392	3,839
繰延税金資産	1,873	1,783
その他	13,872	14,410
貸倒引当金	△89	△89
投資その他の資産合計	53,532	62,584
固定資産合計	129,381	139,721
資産合計	267,250	259,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,286	15,841
短期借入金	200	—
未払法人税等	1,604	1,777
賞与引当金	2,504	1,536
役員賞与引当金	93	68
その他引当金	617	259
その他	11,311	11,750
流動負債合計	32,617	31,234
固定負債		
長期借入金	250	250
退職給付に係る負債	3,482	3,630
役員退職慰労引当金	246	245
繰延税金負債	6,249	8,048
その他	1,106	1,317
固定負債合計	11,334	13,491
負債合計	43,951	44,726
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	5,489	5,370
利益剰余金	171,426	175,187
自己株式	△15,945	△24,117
株主資本合計	165,530	161,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,611	17,216
繰延ヘッジ損益	0	4
為替換算調整勘定	15,172	13,279
退職給付に係る調整累計額	2,903	2,628
その他の包括利益累計額合計	29,687	33,128
非支配株主持分	28,080	20,257
純資産合計	223,298	214,386
負債純資産合計	267,250	259,113



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	96,457	101,016
売上原価	64,094	67,007
売上総利益	32,363	34,009
販売費及び一般管理費	21,056	22,974
営業利益	11,306	11,035
営業外収益		
受取利息	673	680
受取配当金	722	718
受取賃貸料	562	586
持分法による投資利益	854	848
為替差益	99	187
その他	633	783
営業外収益合計	3,547	3,804
営業外費用		
支払利息	17	13
賃貸費用	251	250
設備移設費用	—	114
その他	391	277
営業外費用合計	660	655
経常利益	14,193	14,184
特別利益		
固定資産売却益	49	49
投資有価証券売却益	—	593
ゴルフ会員権売却益	50	—
特別利益合計	99	643
特別損失		
固定資産除売却損	83	178
事業構造改善費用	—	88
その他	6	10
特別損失合計	90	276
税金等調整前四半期純利益	14,203	14,550
法人税等	3,273	4,063
四半期純利益	10,929	10,487
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,370	1,113
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,559	9,374

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	10,929	10,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△595	5,754
為替換算調整勘定	2,046	△1,804
退職給付に係る調整額	△389	△274
持分法適用会社に対する持分相当額	208	△208
その他の包括利益合計	1,270	3,466
四半期包括利益	12,200	13,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,777	12,814
非支配株主に係る四半期包括利益	2,423	1,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	43,246	15,624	35,536	94,407	2,049	96,457	—	96,457
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,128	285	38	1,452	84	1,536	△1,536	—
計	44,374	15,910	35,575	95,859	2,133	97,993	△1,536	96,457
セグメント利益又は 損失(△)	7,969	397	3,704	12,070	34	12,104	△797	11,306

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△797百万円には、セグメント間取引消去345百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,143百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	43,988	18,556	36,165	98,710	2,305	101,016	—	101,016
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	952	487	52	1,491	7	1,498	△1,498	—
計	44,940	19,044	36,217	100,202	2,312	102,515	△1,498	101,016
セグメント利益又は 損失(△)	7,153	1,247	3,680	12,080	△41	12,038	△1,003	11,035

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,003百万円には、セグメント間取引消去275百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,278百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,006百万円	5,260百万円

## 3. 補足情報

## (1) 四半期毎の業績の推移（連結）

2026年3月期（連結）

（単位：百万円）

	第1四半期 2025年4月～6月	第2四半期 2025年7月～9月	第3四半期 2025年10月～12月	第4四半期 2026年1月～3月	通算 2025年4月～2026年3月
売上高	31,876	32,857	36,281		101,016
売上総利益	10,716	11,080	12,211		34,009
営業利益	3,413	3,416	4,205		11,035
経常利益	4,033	4,809	5,341		14,184
税金等調整前当期純利益	4,552	4,707	5,290		14,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,810	2,851	3,712		9,374
総資産	256,085	261,468	259,113		—
純資産	215,591	217,283	214,386		—

2025年3月期（連結）

（単位：百万円）

	第1四半期 2024年4月～6月	第2四半期 2024年7月～9月	第3四半期 2024年10月～12月	第4四半期 2025年1月～3月	通算 2024年4月～2025年3月
売上高	30,344	32,388	33,723	35,824	132,281
売上総利益	10,475	10,555	11,332	11,545	43,909
営業利益	3,654	3,482	4,169	3,691	14,998
経常利益	4,909	3,997	5,286	5,742	19,936
税金等調整前当期純利益	4,944	4,027	5,231	5,499	19,702
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,024	2,869	3,665	3,552	13,112
総資産	266,910	265,566	264,483	267,250	—
純資産	223,068	225,074	220,208	223,298	—

2024年3月期（連結）

（単位：百万円）

	第1四半期 2023年4月～6月	第2四半期 2023年7月～9月	第3四半期 2023年10月～12月	第4四半期 2024年1月～3月	通算 2023年4月～2024年3月
売上高	28,622	29,889	32,528	34,044	125,085
売上総利益	9,672	10,458	11,362	11,200	42,693
営業利益	3,179	3,727	4,401	3,949	15,258
経常利益	4,274	4,952	5,469	5,249	19,945
税金等調整前当期純利益	4,285	4,764	5,612	6,272	20,935
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,698	3,131	3,445	3,919	13,194
総資産	239,330	251,270	255,717	269,819	—
純資産	200,200	208,438	211,704	219,885	—

## (2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失 (△)			
		前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	24,539	25,003	464	1.9%	4,156	3,648	△ 508	△12.2%
	アジア	17,856	18,330	474	2.7%	3,027	2,856	△ 171	△5.7%
	欧米	850	654	△ 196	△23.1%	197	72	△ 125	△63.6%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,128	952	△ 175	△15.6%	587	576	△ 11	△1.9%
	計	44,374	44,940	566	1.3%	7,969	7,153	△ 816	△10.2%
装置 事業	日本	10,291	10,664	372	3.6%	△ 75	325	401	528.4%
	アジア	4,631	7,318	2,686	58.0%	298	736	437	146.4%
	欧米	701	573	△ 127	△18.1%	101	89	△ 12	△12.2%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	285	487	201	70.5%	72	95	23	32.5%
	計	15,910	19,044	3,134	19.7%	397	1,247	850	214.1%
加工 事業	日本	18,682	19,529	847	4.5%	2,510	3,131	620	24.7%
	アジア	9,291	9,170	△ 120	△1.3%	1,068	629	△ 438	△41.1%
	欧米	7,562	7,465	△ 97	△1.3%	2	△ 222	△ 225	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	38	52	13	35.9%	122	141	19	15.7%
	計	35,575	36,217	642	1.8%	3,704	3,680	△ 23	△0.6%
報告セグメント計		95,859	100,202	4,342	4.5%	12,070	12,080	10	0.1%
その 他	日本	2,049	2,305	255	12.5%	34	△ 41	△ 75	△223.1%
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	84	7	△ 76	△91.5%	0	0	—	0.0%
	計	2,133	2,312	178	8.4%	34	△ 41	△ 75	△220.9%
合計		97,993	102,515	4,521	4.6%	12,104	12,038	△ 65	△0.5%
調整額		△ 1,536	△ 1,498	37	2.4%	△ 797	△ 1,003	△ 206	△25.8%
連結損益計算書計上額		96,457	101,016	4,558	4.7%	11,306	11,035	△ 271	△2.4%

## 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	58,637	60,760	2,123	3.6%	6,801	7,218	417	6.1%
アジア	32,590	34,950	2,359	7.2%	4,407	4,235	△ 171	△3.9%
欧米	9,139	8,897	△ 242	△2.7%	302	△ 60	△ 363	△120.1%
合計	100,367	104,608	4,240	4.2%	11,511	11,394	△ 117	△1.0%
調整額	△ 3,910	△ 3,592	318	8.1%	△ 204	△ 358	△ 154	△75.3%
連結損益計算書計上額	96,457	101,016	4,558	4.7%	11,306	11,035	△ 271	△2.4%